

長野県JAバンクの地域密着型金融の 取組状況について（平成28年度）

平成30年1月



長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です

- ◆長野県JAバンク（長野県下JAと長野県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、平成28年～30年度長野県JAバンク中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。
- ◆平成28年度の地域密着型金融の取組状況についてご報告いたします。



©ちよリス

長野県内のJA

(平成29年3月末 時点)

中信地域

JA木曾
JA松本市
JA松本ハイランド
JA塩尻市
JA洗馬
JAあづみ
JA大北

北信地域

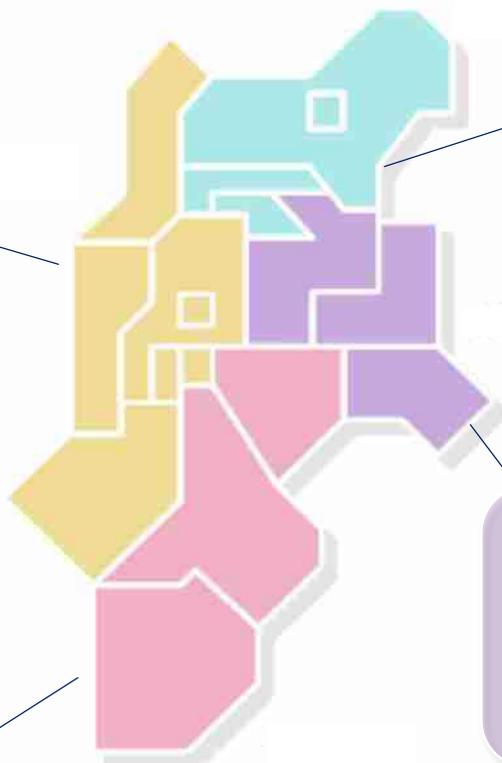
JAグリーン長野
JA中野市
JAながの

東信地域

JA長野八ヶ岳
JA佐久浅間
JA信州うえだ

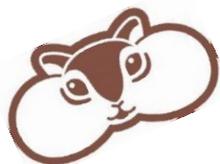
南信地域

JA信州諏訪
JA上伊那
JAみなみ信州



©ちよリス

【目次】



©ちよリス

- I. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援 . . . **P4**
- II. 担い手の経営のライフステージに応じた支援 . . . **P16**
- III. 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、
担い手に適した資金供給手法の提供 . . . **P22**
- IV. 農山村等地域の情報集積を活用した
持続可能な農山村等地域育成への貢献 . . . **P28**

1. 農山村等地域活性化のための融資をはじめとする支援

長野県JAバンクは、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため次の取り組みを行っています。

農業融資商品の適切な開発・提供

担い手のニーズに応えるための取り組み

各種セミナー・イベント等の開催・参加



©ちよリス

農業融資商品の適切な開発・提供①

- ◇長野県JAバンクは、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取り扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。
- ◇平成29年3月末時点の長野県JAバンクの農業資金残高（注1）は511億円、日本政策金融公庫の受託貸付金（注2）残高は122億円となっています。

（注1）農業資金残高には、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に関係する事業に必要な資金等が該当します。

（注2）長野県JAバンクが農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

農業融資商品の適切な開発・提供②

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

	平成29年3月末現在
農業	36,974
穀作	2,023
野菜・園芸	20,312
果樹・樹園農業	2,644
工芸作物	3
養豚・肉牛・酪農	2,007
養鶏・鶏卵	102
養蚕	2
その他農業	9,881
農業関連団体等	14,171
合計	51,145

(注)

1. 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
2. 「農業関連団体等」には、JAや全農(経済連)とその子会社等に対する貸出金が含まれています。

農業融資商品の適切な開発・提供③

【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円)

種類	平成29年3月末現在
プロパー資金	42,797
農業制度資金	8,348
〔 農業近代化資金	5,275
〔 その他制度資金	3,073
合計	51,145

(注)

1. プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち制度資金以外のものをいいます。
2. 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことで長野県JAバンクが低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
3. その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

種類	平成29年3月末現在
日本政策金融公庫資金	12,226
合計	12,226

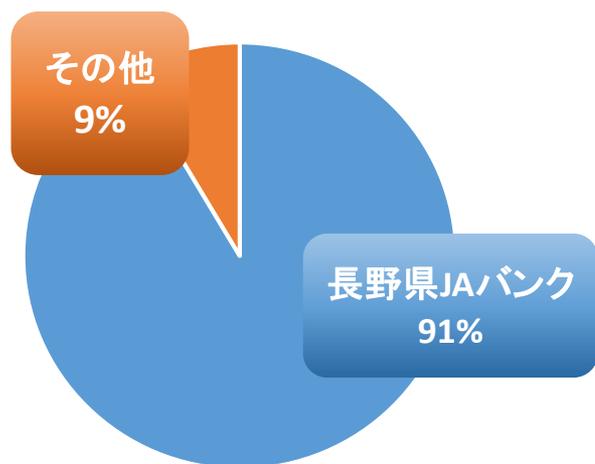
(注)

長野県JAバンクでは、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

農業融資商品の適切な開発・提供④

◇長野県JAバンクは主要な農業関係の制度資金である、**農業近代化資金**の取り扱いにおいて**トップシェア**となっています。

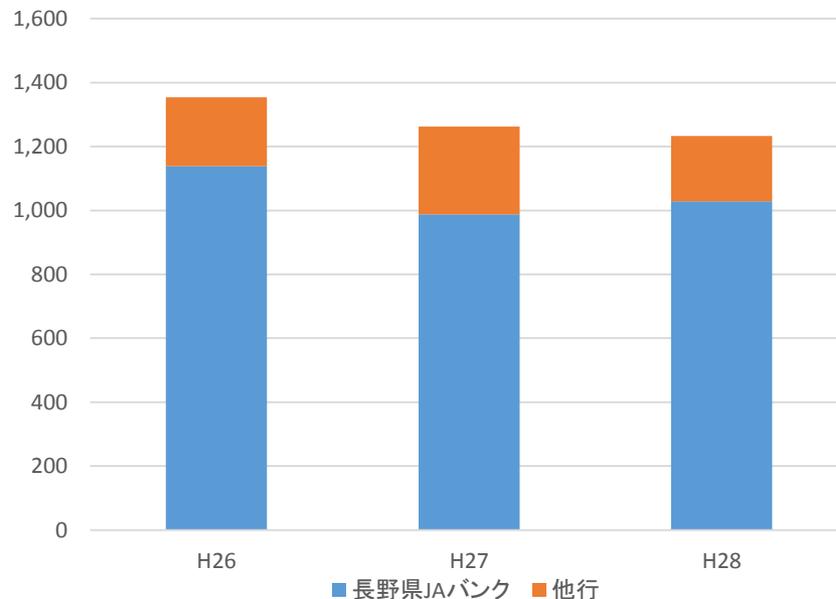
【農業近代化資金 融資残高シェア】 (県内比)



(平成28年12月末時点)
数値提供：農林中央金庫

【農業近代化資金 利子補給承認状況】 (県内比)

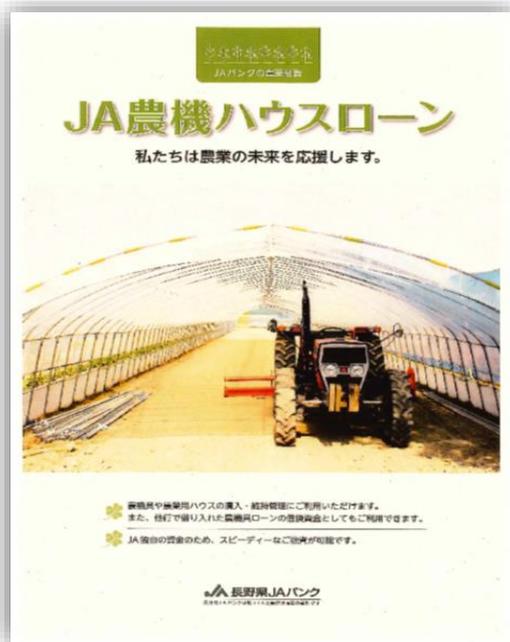
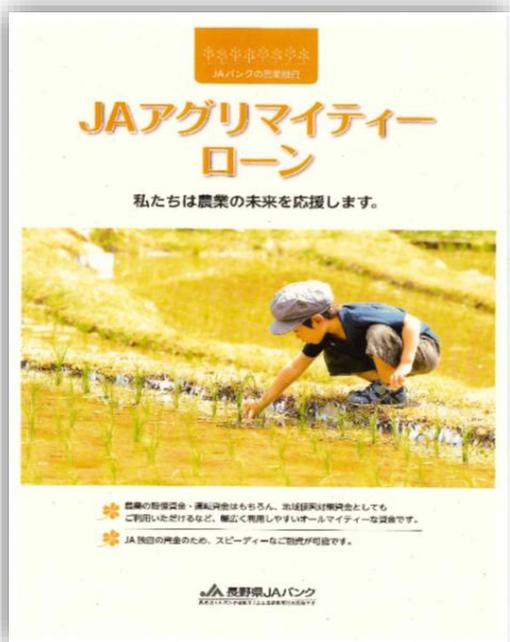
(単位：百万円)



(平成29年3月末時点)
数値提供：長野県農政部農村振興課

農業融資商品の適切な開発・提供⑤

- ◇長野県JAバンクでは、農業者からのニーズに対応するため各種農業資金をご用意しております。
- ◇主力商品である「JAアグリマイティーローン」「JA農機ハウスローン」は多くの農業者にご利用いただいております。
- ◇引き続き農業者のニーズの適切な把握に努め、商品の拡充に取り組み、長野県の農業をバックアップしていきます。



担い手のニーズに応えるための取り組み①

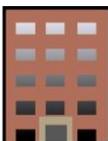
- ◇長野県JAバンクでは、地域の農業者のニーズに応えるため、様々な取り組みを行っています。
- ◇JAの金融担当者は、営農・経済部門と連携しながら農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。
- ◇これを支える体制として、豊富な農業金融知識を持った農業融資の実務リーダーである「**担い手金融リーダー※**」を、平成28年度末時点で県内16JAに**34名**配置しています。
- ◇信連では、JAのサポート指導機能や農業法人等への融資相談機能を担う「**県域農業金融センター機能**」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

※担い手金融リーダー

JA内農業金融部門の企画・推進機能を担い、他部門連携や実績・情報の管理責任者



地域の支所



各支所の活動をサポート

JA支所⇄JA本所⇄信連が
常に連携していますので、
安心してお近くの支所へ
ご相談ください！



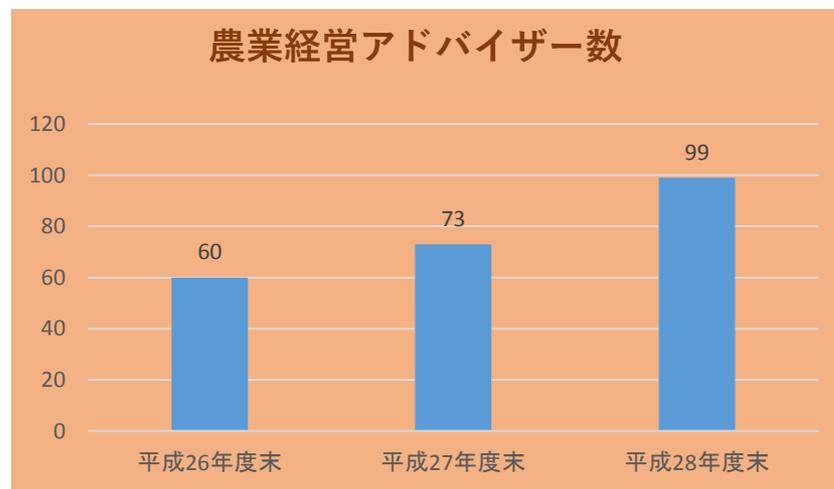
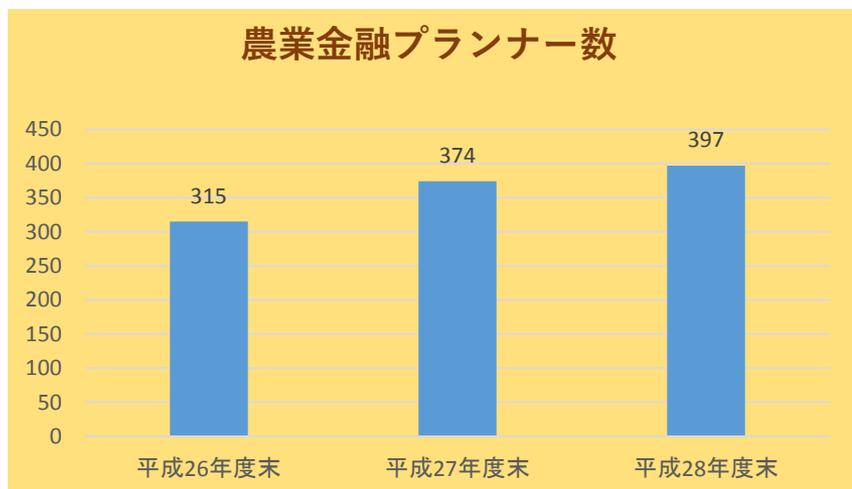
©ちよリス

担い手のニーズに応えるための取り組み②

- ◇農業融資担当者の資金相談・経営相談等に関する知識・ノウハウの一層の充実をはかり、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応じていくことを目的に、農業融資の実務に即した資格の取得に取り組んでいます。
- ◇平成28年度末において、長野県JAバンクでは、**397名**の「JAバンク農業金融プランナー」と**99名**の「農業経営アドバイザー」が誕生しています。
(注1)
(注2)

(注1) 農業金融プランナーとは、平成23年度より導入しているJA系統独自の農業融資資格制度です。

(注2) 農業経営アドバイザーとは、農業経営者のニーズに対応し、経営への総合的かつ的確なアドバイスを実践できる人材を育成するために日本政策金融公庫が平成17年に創設した資格制度です。



担い手のニーズに応えるための取り組み③

- ◇長野県JAバンクでは、**農業担い手の所得向上**に向けた支援を強化すべく、平成28年度より長野県信連が資金提供し、総額13億円の**県域独自支援事業**である「**長野県JAバンク県域サポート事業**」の取り組みを開始しました。

(単位：件、百万円)

目的	支援内容等	平成28年度実績	
		件数	金額
規模拡大・効率化・生産振興応援	農業近代化資金の保証料助成 (「農業近代化資金」借入時に必要な長野県農業信用基金協会保証料の全額を助成)	79	10
	農機具等購入応援事業 (農機具や装置などの設備類等に対し、原則本体価格の30% (上限200万円) を助成)	169	130
地域・農業の基盤強化	親元就農支援事業 (親元就農者の育成・営農にかかる費用等について親元農家に対し20万円を限度として助成)	51	10
	農業法人設立支援事業 (個人農家等が農業法人を設立した際に負担した諸費用の2分の1相当額 (上限20万円) を助成)	12	1.4

今後も、長野県JAバンクは**農業担い手の所得向上**や**農業生産振興**等に向け取り組んでまいります！



金融セミナーの開催①

セミナー名	若手農業者向け金融セミナー
開催日	平成28年11月29日
場所	JA中信会館（松本市）
主催	長野県JAバンク
対象参加者	若手農業者
参加者数	16名
経緯	県内の若手農業者に向け、金融面の情報提供を行うとともに、農業者が日頃悩んでいるテーマについて、実例を通して課題の解決策を検討することで農業経営の発展に貢献することを目的としています。
内容	意見交換会 講師：小松 博文氏（有限会社小松園芸代表取締役） 内容：①年間変形労働時間の導入と運用について ②通年雇用対策について



金融セミナーの開催②

セミナー名	次世代農業者向け金融セミナー
開催日	平成29年1月31日
場所	松本東急REIホテル（松本市）
主催	長野県JAバンク
対象参加者	次世代農業者
参加者数	124名
内容	<p>第1部：金融セミナー 第2部：講演会 演題：「社員がやめない職場づくり」 講師：彩英社労士総合事務所 代表 諏訪 学氏</p> <p>第3部：パネルディスカッション テーマ：「農業経営に必要な人材の確保・育成 について」</p> <p>第4部：交流会</p>
長野県JAバンクの 対応	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者のうち、今後JAからの農業資金の借入を希望している方について該当JAへ情報提供を行いました。 ・参加者からご提案いただいた、今後取り上げてほしいテーマについては次回以降取り上げることを検討しております。



JA農機&資材フェスタへの参加

フェスタ名	JA農機&資材フェスタ2016
開催日	平成28年7月15日～16日
場所	エムウェーブ（長野市）
主催	全農長野県本部
内容	<p>農業資金・ボーナスキャンペーンのPR</p> <ul style="list-style-type: none"> ①会場内での推進資材等の配布 ②長野県JAバンクのブースを設置 ・来場者に対する農業資金の相談会
相談内容について	<ul style="list-style-type: none"> ・「数年後にコンバインの更新を検討しているが、どの資金がおすすめか」 ・「JAから農業資金は借りているが、生活資金の借入もできるのか」 <p>など、<u>来場した農業者のお話を伺い、許可を頂いた方については、該当JAへ情報提供を行いました。</u></p>



長野県信連農業部による農業資金の借入相談会

II.担い手の経営のライフステージに応じた支援

長野県JAバンクでは、担い手をサポートするため、ライフステージに応じた次の取り組みを行っています。

新規就農者に対する支援

農商工連携の推進～商談会の開催～

経営不振農業者の経営改善支援



©ちょリス

新規就農者に対する支援①

- ◇長野県JAバンクでは、新規就農者の農業経営と生活をサポートするため、(株)日本政策金融公庫の青年等就農資金をはじめとした様々な商品を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取り扱い実績】 (単位：件、百万円)

	平成28年度		平成29年3月末残高
	実行件数	実行金額	
青年等就農資金	34	148	441
就農施設等資金	0	0	282
JA新規就農応援資金	9	16	30
その他	0	0	5
合計	43	164	758

新規就農者に対する支援②

◇長野県JAバンクでは、JAバンクアグリ・エコサポート基金※による「**新規就農応援事業**」を実施しています。

※…農林中央金庫の基金拠出を受け、さまざまな農業の担い手を支援するために、助成事業やファンドを通じた支援事業を展開している。

【平成28年度助成実績】

(単位：件、千円)

新規就農応援事業助成件数		
営農支援事業	71	7,100
研修支援事業	26	14,306
合計	97	21,406

～事業概要～

営農支援事業…独立新規就農者が必要とする農業経営費を助成。

研修支援事業…新規就農希望者の研修を受け入れる農家が必要とする研修費用を助成。



©ちよリス

商談会の開催①

◇長野県JAバンクでは、農林水産業の事業力・収益力強化のため、商談会による販路拡大支援等の農商工連携に取り組んでおり、「農業者と産業界の架け橋」としての機能を発揮しています。



長野県JAグループ「いきいき信州！農産加工品展示商談会」 平成28年10月5日（水）

場所	東京交通会館（東京・有楽町）
出展セラー数	48団体（うちJA15）
来場バイヤー数	306社、438名
経緯	「長野県の食の魅力・思いを発信する場」ならびに「バイヤーの皆様から市場の声を聞く場」として、長野県信連主催により開催しました。



商談会の開催②

JA・JFグループ 北信越商談会 平成29年1月26日（木）



場所	石川県地場産業振興センター本館
出展セラー数	27団体（うち県内出店団体5）
来場バイヤー数	42団体（うち県内出店団体6）
経緯	平成27年の北陸新幹線（長野経由）延伸によって直結した北陸地方の市場開拓を目的に、平成27年度の参加に次いで2回目の参加をしました。
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・参加県域：北信越5県（福井・石川・富山・新潟・長野） ・事前マッチング形式方式による商談 ・来場された方に対して、長野県信連職員によるポスター展示やパンフレット配布などを通じた県内観光地の宣伝を行いました。 ・福井・石川・富山・新潟および長野県の農産物・海産物やその加工品等をセラーが直接出品する形式を取り、バイヤーは「地産地消」に積極的な地元企業をはじめ、東海地方からも様々な業態の皆様にご来場いただきました。



©ちよリス



経営不振農業者の経営改善支援

◇長野県JAバンクでは、負債整理資金の対応にあたり特別融資制度推進会議を通じて関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成28年度 農業者の経営改善支援等の取り組み実績】

(単位：先数)

		期初経営改善支援取組先 A			再生計画策定率 =a/A	ランクアップ率 =b/A
		Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c		
正常先①		73	18	11	24.7%	
要注意先	うち その他要注意先②	57	31	3	54.4%	5.3%
	うち要管理先③	4	3	1	75.0%	25.0%
破綻懸念先④		56	25	5	44.6%	8.9%
実質破綻先⑤		32	4	3	12.5%	9.4%
破綻先⑥		0	0	0	—	—
小計 (②～⑥の計)		149	63	12	42.3%	8.1%
合計		222	81	123	36.5%	5.4%

Ⅲ.経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、 担い手に適した資金供給手法の徹底

長野県JAバンクでは、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

資本供与の取り組み

負債整理資金による経営支援

動産担保を活用した農業融資の推進



©ちよリス

農業法人向け資本供与①

◇平成22年度より、アグリビジネス投資育成株式会社の農業法人に対する資本供与の枠組みである「アグリシードファンド」の活用に取り組んでおり、これまでの成約実績は11件・91百万円となっております。

【アグリシードファンド活用実績】 (単位：件、百万円)

アグリシードファンド活用	
平成28年度 出資件数	5
平成28年度 出資金額	42
平成29年3月末 出資金総額	91



農業法人向け資本供与②

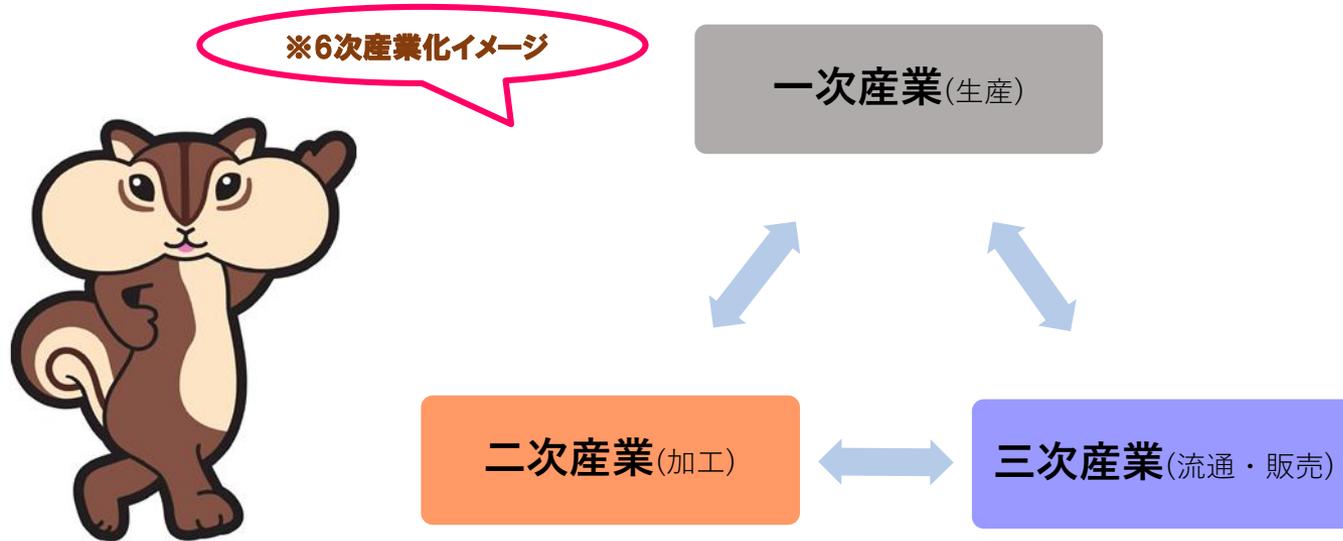
- ◇6次産業化を支援する“6次産業化ファンド”については、平成25年4月にJA全国グループによる広域ファンドとしての「JA・6次化ファンド」が設立されました。

【長野県JAバンクとしての取組】

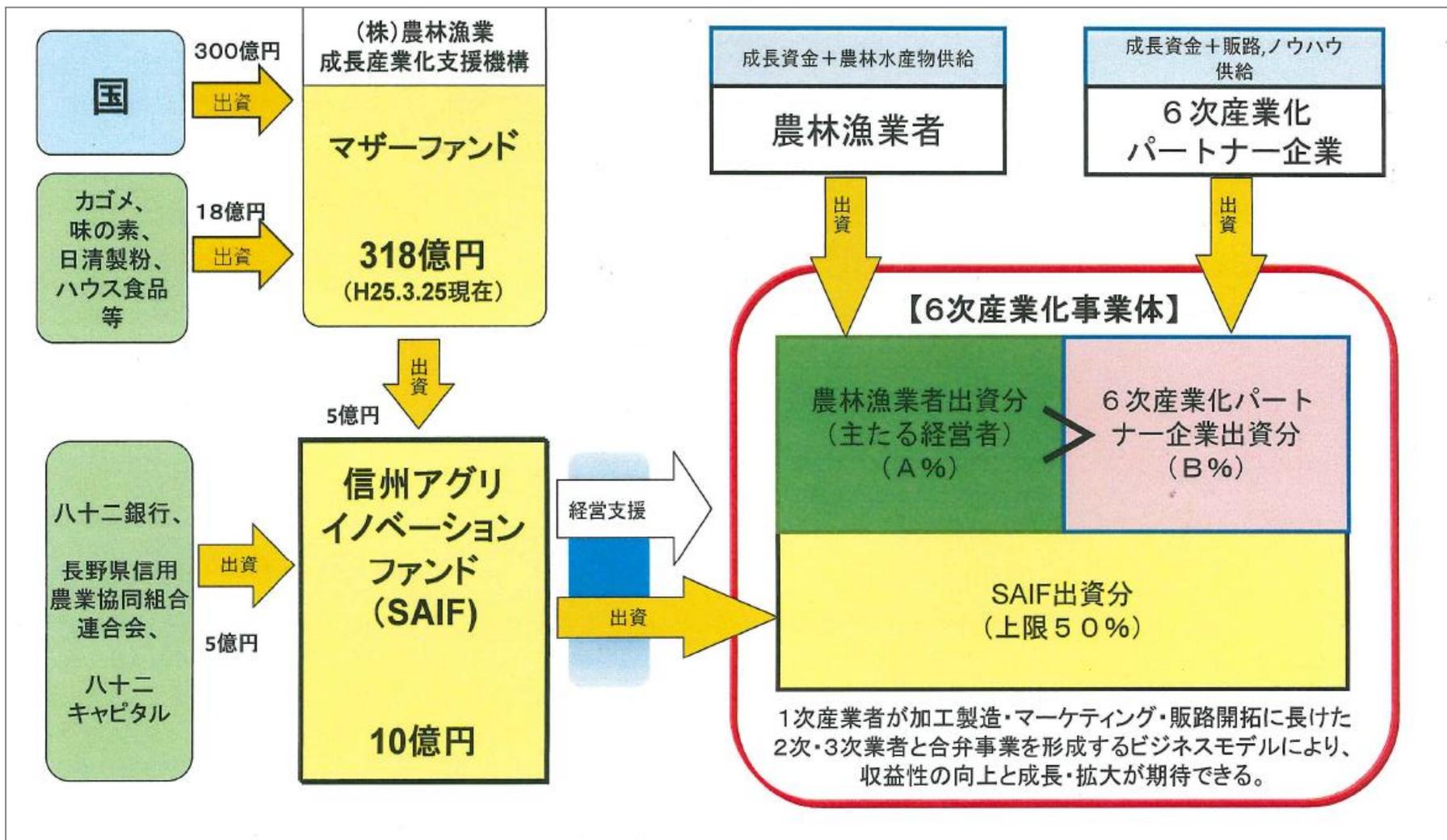
県内金融機関等との地域ファンドである

「信州アグリノベーションファンド(略称=SAIF)」の設立をいたしました。

(平成25年7月1日～)



【信州アグリイノベーションファンド概念図】



負債整理資金による経営支援

◇長野県JAバンクでは、農業者の債務償還負担を軽減し経営再建を支援するため、各種負債整理資金を取り扱っています。

【平成28年度負債整理資金の貸出実績】 (単位：件、百万円)

資金名	平成28年度 実行		平成29年3月末 残高
	件数	金額	
農業資金（負債整理資金）	9	40	158
農家負債整理資金	0	0	83
農業経営負担軽減支援資金	0	0	101
畜産関係資金	0	0	525
その他	5	40	552
合計	14	80	1,419

【農業経営負担軽減支援資金】

営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換のための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

【畜産特別資金等】

過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

動産担保を活用した農業融資の推進

◇長野県JAバンクでは、農畜産物や事業用車両などの様々な動産を担保とした融資を行い、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資への取り組みを行っております。

◇平成28年度における融資の実績は下表のとおりです。

【平成28年度活用実績】

(単位：件、百万円)

種類	件数	残高	内容
畜産物	2	1	牛
機械設備	5	72	農機具
その他	2	2	定期貯金・共済積立金担保
合計	9	75	

IV.農山村等地域の情報集積を活用した、 持続可能な農山村等地域育成への貢献

長野県JAバンクでは、地域社会へ貢献するため、次の取り組みを行っています。

被災者・生産資材高騰等への支援

地域密着への取り組み

- ・長野県JAバンクの取り組み/・県下JA独自の取り組み



©ちよリス

被災者・生産資材高騰等への支援

◇長野県JAバンクでは、農産物価格の下落や生産資材の価格高騰を含む災害への対策資金の創設や、個別融資先の経営状況に応じた償還条件の緩和等の対応を行いました。

(単位：件、百万円)

取組事例	J A 名	内 容	件数	実行金額
JAバンク利子補給事業	長野県JAバンク	長期にわたる農畜産物の消費・価格低迷等が農家経営に多大な影響を与えている現状を踏まえ、農家のコスト負担を軽減することを目的に、JAが農家・組合員に融資している農業運転資金に対し、長野県信連が実施体となり利子補給を実施しました。	918	16
JAアグリマイティローン (災害緊急資金)の対応	長野県JAバンク	自然災害等（農畜産物の物価下落及び資材価格の高騰を含む）の発生に際して緊急性を要する復旧や経営維持にかかる資金を対応しました。	1	3
平成28年長雨被害対策資金	JA塩尻市	長雨で農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	2	2
長雨災害対策資金	JA洗馬	平成28年の長雨による農畜産物の被害を受けた組合員に対し、行政の利子補給を受けた低利の資金を対応しました。	1	2
平成28年度きのこと夏期運転資金	JA中野市	きのこと販売価格の低迷により、困窮する夏場の運転資金を低利で対応しました。	85	916
菌茸季節対応資金	JAながの	競合産地の増加等により菌茸販売価格が低迷していることに加え、季節ごとに販売価格差が顕著に現れていることにより経営に重大な影響が出ているため、果樹生産農家の前渡金制度の代わりとなる資金を対応しました。	14	44
山ノ内町がんばる農業応援資金	JAながの	農業者が経営の近代化や安定化、規模拡大、効率化及び災害に伴う経営復興を図る際や、後継者及び新規就農者が農業を営むうえで必要な資金を低利で対応しました。	19	36
合計			1,040	1,019

地域密着への取組み①

長野県JAバンクによる取組み①



JA農産物直売所クーポン券付き定期貯金「マルシェ」

経緯	<p>「農業所得増大」と「地域活性化」をテーマに、総合事業を営むJAだからこそできる「農」と「食」をキーワードとした地域活性化への貢献を通じて、JAの社会的機能の発揮を実現することを目的とし、JA農産物直売所で使用できるクーポン券を特典とした定期貯金商品を発売しました。</p>
内容	<p>取扱期間：平成28年4月1日～7月14日（募集総額200億円達成の翌々営業日をもって取扱終了）</p> <p>商品概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お一人様100万円まで ・期間1年のスーパー定期貯金 ・預入10万円ごとに県内JA直売所およびAコープ計79箇所で使える500円分のクーポン券をプレゼント
成果	<p>取り扱い2年目でしたが、昨年に引き続き直売所利用者である地域住民（貯金者）と出荷者双方から喜びの声をいただきました。</p> <p>金融商品を通じて、県内産農産物の売上向上による農業者所得向上、地元農産物の魅力再発見、地域活性化などの一助となれたのではないかと感じています。</p> <p>金融商品として見ても、約3ヶ月で募集総額200億円を達成するなど、大変ご好評をいただきました。</p>
今後の予定	<p>平成29年度もクーポン券使用可能店舗を増やして4月より取り扱いを実施し、平成28年度より1ヶ月以上早く募集総額200億円を達成しました。</p> <p>3年目の取り扱いで、農業所得増大と地域活性化を目指すコンセプトがさらに地域住民に認知されてきたと感じます。次年度も引き続き実施していく予定です。</p>

地域密着への取組み②



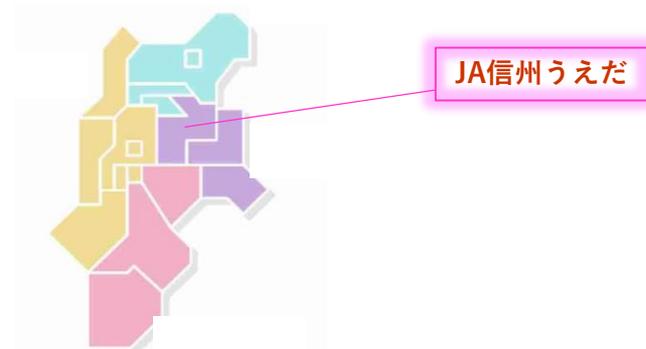
長野県JAバンクによる取組み②

懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローフード) 【長野県JAバンク 秋冬キャンペーン2016】

経緯	「地産地消」や「地域に根ざしたJAバンク」をテーマに、「JAらしさ」を追求した取り組みとして、平成28年度県下統一秋冬キャンペーンにおいて、長野県内の農畜産物等を景品とした懸賞品付定期貯金「Slow風土」(スローフード)を発売しました。
内容	<p>キャンペーン期間：平成28年10月1日～12月30日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預入期間1年以上のスーパー定期貯金，大口定期貯金 ・20万円を一口として抽選券を付与し，抽選により商品进行プレゼント ・プレゼント商品は例年の「信州の食」および「東北の『うめえ』もの」に加えて，新たに「一般社団法人日本ジビエ振興協会」と連携し，ジビエ料理を商品に追加しました。 ・期間中ご契約いただいた方に，「ちょリスブランケット」「ちょリスコインケース」「ちょきんぎょモップ」をプレゼントしました。
成果	<p>県下約360億円のお申し込み実績があり，大変多くの皆様にご好評いただきました。</p> <p>金融商品を通じて，県内農産物を旬の時期にお届けし，地元農産物の魅力を再確認していただくことで，地産地消の促進と農業所得増大への貢献を目指しています。</p>
今後の予定	今後も農業所得増大と地域活性化に向け，身近にJAバンク，JAらしさを感じていただける「長野県の農・食」をキーワードにした商品として，引き続き実施していく予定です。



県下JA独自の地域密着への取組み①



農業生産基盤強化助成事業（JA信州うえだ）

経緯	地域農業振興と強い農業づくりを目指し、農業生産基盤の「維持・拡大」と今後の生産基盤の「創成・醸成」の両輪を進めるため、多品目栽培の実現と農家経営の効率化・省力化を図り、農畜産物の増収および品質向上につなげることを目的としています。
内容	農業生産の拡充と品質向上等を目指す事業および強い農業づくりの支援を行っています。 <ul style="list-style-type: none">・パイプハウス等設置支援事業・果樹設備化対策事業・ブロッコリー苗、花き苗助成事業 等
成果	【平成22年度～28年度 7カ年事業実績】 <ul style="list-style-type: none">・受益農家戸数：1,177件・全般366件、米穀41件、野菜137件、きのこ63件、果実440件、畜産4件、花き119件・事業費：422,519千円・助成額：79,815千円・地域農業振興に係る経営支援、素畜導入支援 助成額：22,267千円
今後の予定	当事業は継続していきます。事業内容は平成29年度～30年度の2年間は同内容で行います。その後は内容を精査し、目的にあった助成とします。

県下JA独自の地域密着への取り組み②



◇平成28年度からの新規事業◇

「JA信州諏訪がんばる農家応援事業」 「融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ」 (JA信州諏訪)

経緯	<p>農業所得の増大と地域活性化を実現し、気象災害に強い安定的な農業経営を持続するため、農業施設貸付を実施しました（がんばる農家応援事業）。</p> <p>また、連帯保証人の確保が困難な場合や事業費の高額化による保証人のリスク回避のために、融資事業を活用して事業を行います（融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ）。</p>
内容	<p>事業対象施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウス施設の新設および増設 ・加温機等付帯設備 ・耐雪補強 等 <p>「がんばる農家応援事業」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・償却費の5分の1以内を助成 <p>「融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業費の5分の1以内を2ヶ年にわたって助成
成果	<p>【平成28年度実績】</p> <p>「がんばる農家応援事業」（農業施設貸付）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請7件（セルリー1件、菊3件、カーネーション2件、トルコギキョウ1件） ・事業費26,340千円（事業予算50,000千円、進捗度52%） <p>「融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ」（融資）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申請5件（セルリー1件、カーネーション1件、トルコギキョウ3件） ・事業費24,770千円（事業予算100,000千円、進捗度24%）
今後の予定	<p>事業実施期間は平成28年度から平成30年度の3年間。</p> <p>「融資で後押しがんばる農家応援事業Ⅱ」は平成28年11月末から取扱開始となった事業であり、初年度の進捗率は低かったですが、平成29年度は7月末現在で8件の融資実行（計16,340千円）を行い、今後さらに申請が増える見込みです。</p>

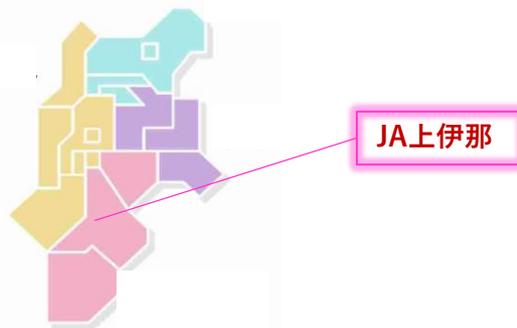
県下JA独自の地域密着への取組み③



農業振興サポート事業（JA信州諏訪）

経緯	JA信州諏訪第3期長期構想21「後期中期3ヶ年計画」（平成28年度～平成30年度）を実現するために行う、農業所得増大のための生産販売額の確保・維持を目的としたJA補助事業です。
内容	各品目に応じた施設整備に対する補助や、生産拡大に向けた取組の支援を行っています。
成果	【平成28年度実績】 件数：587件 事業実績：62,600千円（事業予算121,600千円） 補助金額：13,200千円（補助金予算18,470千円、進捗度71%）
今後の予定	第3期長期構想21「後期中期3ヶ年計画」（平成28年度～平成30年度）における補助事業であり、平成30年度事業終了をもって廃止となりますが、その後導入資金の必要な農業者については、営農部と融資課で連携し事業推進を図っていきます。

県下JA独自の地域密着への取組み④

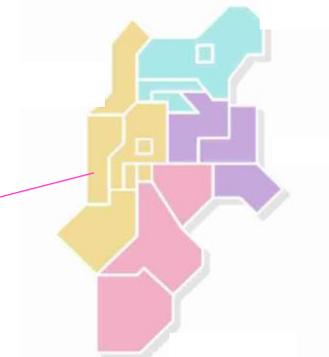


担い手経営体・新規就農者合同セミナー（JA上伊那）

<p>経緯</p>	<p>当JAでは、地域や農業の将来を見据えた取組みやあり方について、各地区の話し合いにより、「人・農地プラン」とあわせて「地域農業振興ビジョン」を策定しています。</p> <p>平成30年度以降の米の需要に応じた生産の実施、地域農業のあり方を踏まえ、地域の農地を守り、元気で活力のある地域を構築していくために地域農業の中心的立場である担い手経営体（認定農業者・集落営農組織）及び新たな担い手である新規就農者を対象にセミナーを開催しています。</p>
<p>内容</p>	<p>農業改良普及センターに後援をいただく中、JA営農部門が主催となり、上伊那地域の上記対象者に対し、情報提供や基調講演を中心としたセミナーを開催し、途中で時間を設け農業資金の紹介を行いました。</p>
<p>今後の予定</p>	<p>新規就農者に対しては、今後規模拡大等の投資計画が見込まれるなか、農業資金（制度資金等）や各種補助金斡旋（JA系統、行政）等に対し、JAが選ばれる（窓口になれる）よう、金融・営農連携のうえ管内の就農者と接点を持てる機会を継続的に作っていきます。</p>



県下JA独自の地域密着への取組み⑤

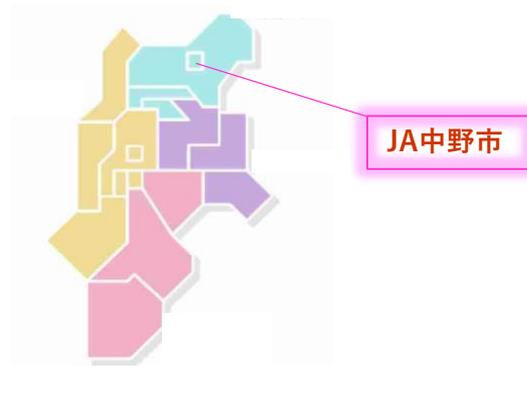


JAあづみ

新規就農者への資金支援にかかる積極的な取組について（JAあづみ）

経緯	当JA重点品目でもある「夏秋イチゴ」の新規就農者増加に伴い、積極的な資金支援のため、制度資金を中心とした資金の円滑な実行を目的とし、事業計画策定の段階からJA（営農・金融）、信連、普及センター、公庫、行政との連携による取り組みの強化を図っています。
内容	農業者と各部門担当者参加による打合せ会議において、意見交換・情報交換による「実抜計画」を基本とした実践的なアドバイスにより、審査時間短縮に取り組みました。
成果	平成28年度は24件実行（青年等就農資金・農業近代化資金・スーパーL資金等）。平成29年度は7月末の段階で4件の実行があり、相談受付は5件となっています。また、申込相談の早期段階から携わることにより、新規就農者との関係性が深まり、積極的なアプローチにつながっています。
今後の予定	今後も、部会を通じた面談や継続的な個別訪問等により、次世代就農者および既存就農者へのサポートを継続していきます。

県下JA独自の地域密着への取組み⑥



きのご夏期運転資金（JA中野市）

経緯	きのご類の消費需要が減退し、価格が低迷する夏場において不足する運転資金の対応を行うものです。
内容	当該年度の10月から3月にかけての精算金から一定金額を別途控除することで返済財源を確保し、生産者にとってもJAにとってもスムーズな貸出と償還を行える資金としました。
成果	前年の出荷実績を基にしているため過剰な貸出とはならず、過去の取り組みにおいても延滞は発生していません。
今後の予定	精算金の前取りをするため、継続的な利用者が多くなっています。



©ちよリス



©ちよリス

今後も長野県JAバンクはさまざまな取り組みを通じ、
農業者と夢を共有し、長野県農業を応援してまいります！

 **長野県JAバンク**

長野県JAバンクは県下JAと長野県信連の総称です